

## ■ 定性的評価結果

### 《気候変動に対するリスク》

#### 移行リスク 影響が大きくなる1.5℃シナリオにて評価

分類	外部環境の変化	当社への影響	シナリオ分析結果			
			発生可能性		影響度	
			2030年	2050年	2030年	2050年
規制強化	新たな炭素税、または排出権制度の導入	サプライヤーに対する炭素課税や、エネルギーコストの増加、温室効果ガス排出量削減に向けた設備投資の増加などが原材料価格に転嫁され、原材料コストが増加	大	大	中	大
		自社の温室効果ガス排出量に対する課税によりコストが増加	大	大	中	中
		炭素排出を伴う発電への課税や発電コストの上昇による電気代の増加	大	大	小	中
		気候関連の増税によるコスト増加や規制強化などにより施主の建設意欲が低下することで建設市場が縮小し、当社の建設向け商品需要が減少	中	中	小	中
	プラスチックゴミ規制強化	廃棄物処理コストの増加	小	大	小	中
技術	低炭素技術(水素・CCSなど)の進展	自社工場における低炭素技術の対応遅れにより自社の温室効果ガス排出量が満足に削減されず、自社商品の需要が減少	大	大	小	中
市場	取引先からの温室効果ガス排出量削減要求の高まり	取引先企業からの要求を満たせない場合、取引停止により売上が減少	中	中	小	大
	ライフサイクル全体で温室効果ガス排出量が少ない、低炭素型商品ニーズの増加	市場ニーズに合わせた新商品の開発や、既存商品の製造方法の転換などによる研究開発費や設備投資額の増加	大	大	中	大
		廃棄物燃焼時に二酸化炭素を発生させないバイオマス原料への転換によるコスト増加	大	大	小	中
		使用後の商品廃棄時に発生する温室効果ガス排出量削減需要の高まりによる、リサイクル不可商品需要の減少	小	大	小	中
	ガソリン需要低下によるナフサ価格高騰	ガソリン需要の低下に伴い、ナフサ売価におけるコスト比率が高まることで、ナフサ価格が上昇し、関連する原材料コストが増加	小	中	小	大
化石由来燃料・原料の代替など、木材需要の変化	木材需要がひっ迫することにより、当社が購入する木材のコストが増加	小	中	小	中	

#### 物理的リスク 影響が大きくなる4℃シナリオにて評価

分類	外部環境の変化	当社への影響	シナリオ分析結果			
			発生可能性		影響度	
			2030年	2050年	2030年	2050年
緊急性	台風や豪雨の頻発化	自社工場の被災により、設備損害・在庫品廃棄・納期遅延が起これば特別損失が発生、操業停止に伴う売上が低下	大	大	大	大
		サプライヤー工場の被災により原材料などの購入品が入手困難となり、生産量が低下	大	大	中	中
慢性	平均気温の上昇	森林火災の増加により木材調達コストが増加	小	中	小	中

《気候変動による機会》

影響が大きくなる シナリオ	分類	外部環境の変化	当社への影響	シナリオ分析結果			
				発生可能性		影響度	
				2030年	2050年	2030年	2050年
1.5C 4C	リソース の効率化	エネルギー使用効率向上	自社の生産プロセスの見直し、業界などにおける効率的な生産プロセスの普及などにより、エネルギーコストの削減、炭素税支払いの回避	小	大	小	中
1.5C 4C	商品・ サービス	気候変動に適応する商品需要増	気候変動への適応に貢献する以下商品の需要が増加 (低炭素型商品、バイオマス原料を用いた商品、リサイクル可能商品、木質資源活用に資する商品、建築物の強靱化に資する商品、省施工型商品、断熱材関連商品、抗ウイルス商品など)	大	大	中	大
1.5C 4C	市場	追加的コストに対する顧客の理解 浸透	気候変動の影響で新たに発生したコストに対する理解 の浸透により、売価が上がり売上が増加	中	中	中	大
1.5C 4C	レジリ エンス	気候変動対応推進企業に対する既 存顧客の期待の増加	気候変動対応の推進による既存顧客との関係強化を通 じた自社商品の需要の増加	小	中	小	大
1.5C 4C		異常気象の増加に備えた保険加入	保険適用による水害などの被害影響の低減	大	大	大	大